

令和2年度 自己点検・自己評価結果
(福井県立看護専門学校)

令和3年6月

◆ 自己点検・自己評価の流れ

- ① 「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針作成検討会」報告書の評価内容一覧を基本に、他校の自己点検表も参考にしながら、本校の8分野48項目の点検項目を決定。
- ② この点検項目について、全職員による評価を実施。
- ③ 点検項目は、それぞれ

S:優れている(4)	A:当てはまる(3)
------------	------------

B:やや当てはまる(2)	C:当てはまらない(1)
--------------	--------------

 の4段階評価を行い、()内の数字を評価点として各大項目別、中項目別の平均点を算出。
- ④ この結果に基づき、点検・評価を実施。

◆ 自己点検・自己評価結果と課題

点検の結果、いずれの評価項目もほぼ水準を満たしていた。

1. 優れていた評価項目は、以下のとおりであった。

- ◎ 国家試験合格状況は全国の平均合格率を上回っている
⇒国家試験合格率は100%で、全国平均95.4%を上回っている。
- ◎ 合格状況を分析し、教育活動に活かしている
⇒必修・一般問題の成績状況を把握して検討している。

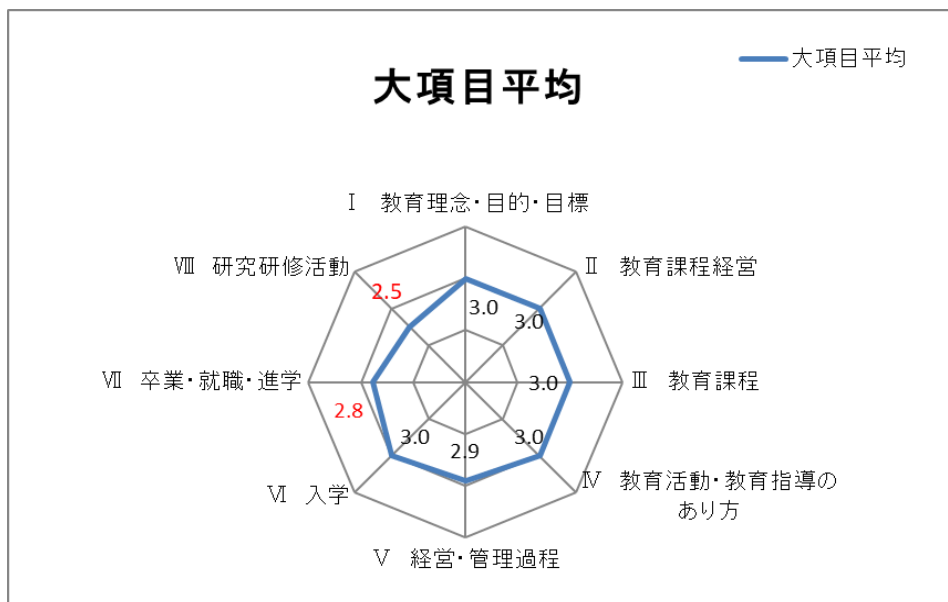
2. 今後さらに取り組むべき評価項目は、以下のとおりであった。

- ◎ 授業の計画的遂行・調整
- ◎ 看護師を選んだ者のうち90%は県内に就職している
⇒県内就業率は84.4%と過去3年間の平均(78.8%)より5.6%増加した。
- ◎ 研究成果の発表
⇒毎年の発表を計画し、研究に取り組んでいるが、学会への発表や、専門誌への投稿実績はない。

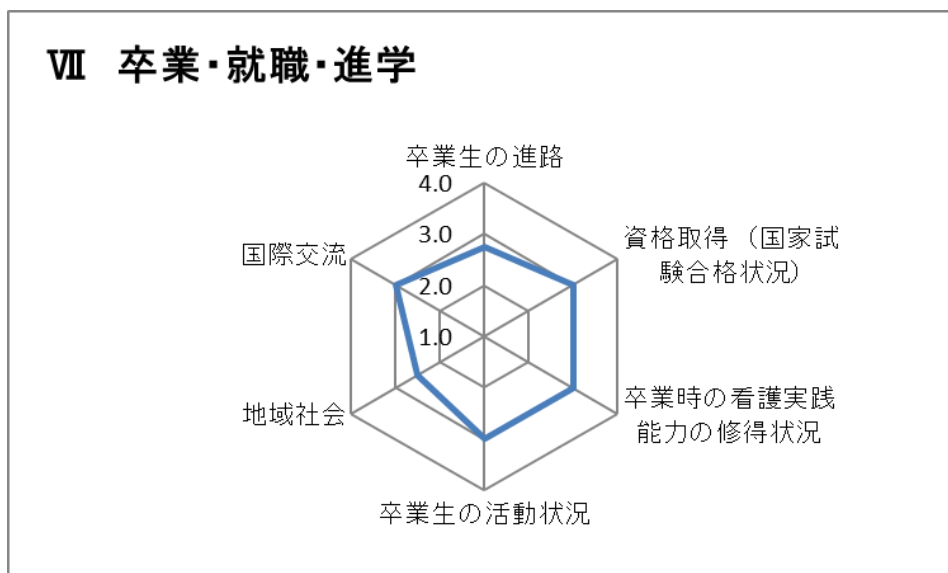
3. 今後の課題

- ・ 令和4年度スタートのカリキュラム改正にあわせて、評価項目・評価視点について見直し検討を行う必要がある。
- ・ 県内就業率は増加しているが、さらなる県内の看護師確保に向け、関係機関との情報交換にも協力し、学生への情報提供を積極的に行っていく必要がある。
- ・ 教員の研究活動については昨年と同様の結果であり、引き続き研究活動を保障するために、支援体制(研究時間の確保、研究費の支援、研究論文助成の活用、大学や実習施設との共同研究等)を整える必要がある。

① 大項目ごとにその平均値を図にしたものは下記のとおり。



② 「VII卒業・就職・進学」の評価項目ごとの平均値は以下のとおり。



③ 「VIII研究研修活動」の評価項目ごとの平均値は以下のとおり。

